

環境報告書 2023

Environmental Report



パルシステム茨城 栃木
pal*system

● 環境報告書 発行にあたって

日頃よりパルシステム茨城 栃木の事業活動や組合員活動においてご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度は食料品やエネルギー価格をはじめとした急激な物価高騰により、パルシステムの商品においても産直関係が保てる範囲で商品価格の値上げを実施せざるを得ない状況となりました。

年々世界的に深刻化する環境問題に対し、解決に向けた具体的な取り組みが求められています。私たちもこれらの問題に対応するため、2023年9月に環境方針を改定しました。パルシステムグループの一員として、組合員と共に『脱炭素社会』『循環型社会』『自然共生社会』に向けた取り組みを推進することで企業としての社会的責任を果たしていきます。

末尾となりますが、みなさまの健康を祈念し、今後ともパルシステム茨城 栃木へのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2024年5月

生活協同組合パルシステム茨城 栃木

専務理事 塚本 昭二



● 理 念

パルシステム茨城 栃木は、『心豊かなくらしと共生の社会を創ります。一人ひとりの愛と自立した協同の力で心豊かな暮らしの創造と誰もが公平に生きつづけられる社会をめざします』を理念とし、あらゆる活動を通じて環境に配慮し、持続可能な社会の実現を目指し取り組んでいます。

組織の概要 (2024年3月31日現在)

設立年月日 ◆ 2000年3月20日

所 在 地 ◆ 茨城県水戸市梅香二丁目1番39号

代 表 者 ◆ 理事長 青木 恭代

沿 革 ◆ 「生活協同組合コープあい」と「ひたちコープ生活協同組合」が組織合同し、「生活協同組合ハイコープ」に名称を変更。2007年6月「生活協同組合パルシステム茨城」に名称を変更。さらに2018年9月、「生活協同組合パルシステム茨城 栃木」に名称を変更。

供 給 高 ◆ 175億円

出 資 金 ◆ 69億円

組 合 員 ◆ 140,308名

施 設 ◆ 本部、無店舗事業センター7、店舗2、組合員拡大事務所1

● 環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム (ISO14001)は、企業や団体などの組織が事業活動をおこなう際に、環境への影響を考慮してどうマネジメントしていくかを示す国際標準規格です。

当生協でも2003年2月にISO14001の認証を取得し、事業活動における環境負荷低減の取り組みとして温室効果ガス削減計画の策定や再生可能エネルギーの導入などをすすめてきました。職員一人ひとりの日常業務においてもPDCAサイクルに基づき、常に継続的改善をはかっています。



● パルシステム茨城 栃木 環境方針

生活協同組合パルシステム茨城 栃木は、パルシステム茨城 栃木の理念「心豊かなくらしと共生の社会を創ります ～ 一人ひとりの愛と自立した協同の力で心豊かな暮らしの創造と誰もが公平に生きつづけられる社会をめざします」のもと、事業活動にともなう生物多様性への影響に配慮し、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向け、以下の環境方針を定めます。また、環境方針を達成するため環境目標を設定し、定期的に見直すことで、環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図ります。

- (1)「脱炭素社会」の実現に向け、事業と組合員のくらしの両輪で省エネルギーの推進と温室効果ガス削減に取り組めます。
- (2)「循環型社会」の実現に向け、限りある資源の有効利用や3Rの実践を通して、環境への負荷を可能な限り減らします。
- (3)「自然共生社会」の実現に向け、自然環境を大切にすることをすすめます。
- (4)資源循環型社会の実現に向け、事業活動におけるエネルギー効率の見直し、再生可能エネルギーへの転換をすすめます。
- (5)環境に配慮した商品づくりを通して、くらしの見直しを組合員と共に推進します。

以上の活動をすすめるため、組織のために働くすべての人に対し環境方針の周知徹底を図ります。また、環境方針を理解し行動できるよう環境教育・啓発などを通して環境意識の向上に努めます。

この環境方針は、生活協同組合パルシステム茨城 栃木内外に公開します。

2023年9月1日

生活協同組合パルシステム茨城 栃木

専務理事 塚本 昭二

● 環境方針に基づく目標と実績

パルシステム茨城 栃木では、環境に与える影響を最小限に抑えるため、環境方針をたて、方針に沿った目標を設定・評価し活動をおこなっています。

	項目	環境目標	2023年度実績	評価
環境方針(1)	二酸化炭素(CO ₂)排出量の削減 ※電気CO ₂ 排出係数は2022年度の排出係数を暫定で使用。確定後変更予定。	原単位 8,820.5 kg-CO ₂ 以内 (CO ₂ 総排出量 1,564,705.6 kg-CO ₂ 以内)	8,524.8 kg-CO ₂ (1,506,012.6 kg-CO ₂)	103.5 % (103.9 %)
環境方針(2)	資源有効利用・3R	グリーン購入利用増 201点以上(かしま・つちうら・ひたち) オンラインパル登録率向上 85.0%以上(みと・うしく・なか) シッパー蓋の購入抑制 6,000枚以下(栃木) 電気・紙の削減周知 6回(本部) AB/バック回収増 9,592kg以上(本部)	374 点 71.9 % 4,000 枚 6 回 10,066.6 kg	185.8 % 84.5 % 150.0 % 100.0 % 104.9 %
環境方針(3)	自然環境を大切に活動	5S活動 36回(かしま・みと・つちうら・うしく・なか・ひたち) センター周辺の清掃 2回(栃木) 企画参加者増 468名以上(本部)	36 回 3 回 1,179 名	100.0 % 150.0 % 251.8 %
環境方針(4)	エネルギー効率の見直し	室外機・フィルタ清掃 12回 (かしま・みと・つちうら・うしく・なか・ひたち) 本部職員週1回ノーマル作業デー(本部) 実施率 100%	17 回 99.0 %	141.7 % 99.0 %
環境方針(5)	環境配慮商品の利用向上	利用率 86.8%以上(全体) パルくる便1人当たり登録点数増 3.7点(栃木) 環境商品利用向上 便利つゆ・恩納村もずく 7,596点(つちうら) 環境商品利用向上 リ・さいくりんぐトレペ 6,442点(つちうら) ASG国際認証の認知向上 2回(本部) 本部のグリーン購入適合商品100%(本部)	86.6 % 3.9 点 6,254 点 7,473 点 2 回 100 %	99.8 % 104.0 % 82.3 % 116.0 % 100.0 % 100.0 %

※注1 利用率 注文書を配布した枚数を、実際に注文した人数で割り算した値

●対象期間：2023年度(2023年4月～2024年3月)環境方針を改訂したため、下期の目標となります。

●CO₂ 総排出量：電気・ガス・水道・灯油・車両から排出される二酸化炭素の総量

●原単位：事業所ごとに、各エネルギー消費量の合計した値を、エネルギー使用量と密接な関係にある単位(パルシステム茨城 栃木では受注高)で割り算した値

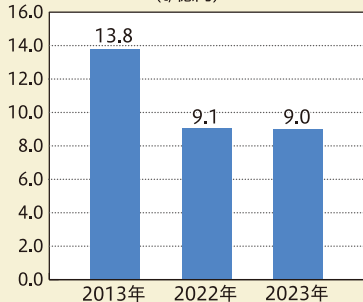
●評価：適合○(達成率100%以上)、観察△(達成率90%以上100%未満)、不適合×(達成率90%未満)

◆環境方針に基づく環境目標と実績は、本部及び配送センター適用です。

● 温室効果ガスの削減

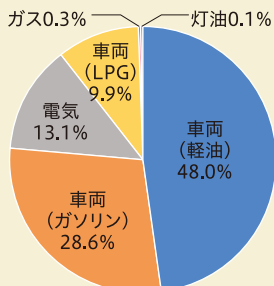
パルシステムグループでは温室効果ガス削減計画を策定し、グループ全体で「2030年までに2013年度比46%削減」をめざし取り組んでいます。

供給高1億円あたりのCO₂排出量
(t/億円)



※電気のCO₂排出係数は、2022年度の係数を暫定で使用しています。

供給高1億円あたりのCO₂排出量の内訳



◆電気自動車の導入

2023年9月、みとセンターの営業車の一部に電気自動車を導入しました。2022年導入の電気自動車と併せて合計3台がみとセンター・栃木センターへ配置されました。センター敷地内には充電スタンドも設置されています。電気自動車は内蔵電池に電気を充電し、その電気を使ってモーターを動かして走行します。排気ガスを排出しないため、ガソリン車と比較して二酸化炭素の排出量が少なくなるとわれています。また、うしくセンターでは、らくらく便の配送車両として電気自動車を2015年から導入しています。



【性能・仕様】

車種 日産SAKURA(軽自動車)
バッテリー:20kWh
バッテリー充電時間:約8時間(220V)
航続距離:最大180km(WLTCモード)

◆冷凍庫・冷蔵庫 環境にやさしい自然冷媒(CO₂)に入れ替えました

2024年3月、うしくセンターの業務用冷凍庫と冷蔵庫を自然冷媒(二酸化炭素)に入れ替えました。冷媒とは、主に冷凍冷蔵庫やエアコンに使われ、熱を移動させるために用いられるガスのことです。多くの製品にはフロンガスが使われていますが、フロンはオゾン層破壊が問題視され、現在はオゾン層を破壊しない代替フロンが使われています。しかし代替フロンも地球温暖化係数が非常に高く、ノンフロン冷媒を使用しようという動きが活発化しています。その中でも、もともと自然界に存在していた物質(アンモニアや二酸化炭素など)を使った冷媒を自然冷媒といいます。

● リユース・リサイクル回収率※

資源の国内循環と廃棄物削減のため、容器包装のリユース・リサイクルをすすめています。

※回収率/1年間に販売した商品の容器包装の量を、生協が回収した量で割り算した値

	米袋	注文用紙	カタログ	資源 プラスチック	紙パック	たまご パック	ペット ボトル	ABパック・ ヨーグルト カップ	お料理 セットトレイ	リユース びん
2022年度	44.3%	71.3%	94.4%	24.7%	52.1%	65.0%	61.9%	26.7%	47.2%	71.3%
2023年度	43.9%	67.9%	91.2%	24.2%	52.9%	69.3%	60.8%	30.0%	64.9%	75.8%



● 組合員活動の取り組み

◆テーマ別組合員活動「環境」

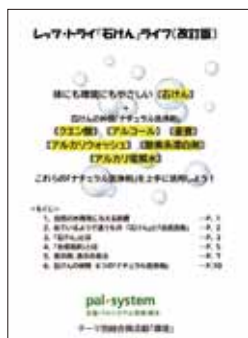
テーマ別組合員活動は、パルシステム茨城 栃木の年度方針に基づき「食育・産直・環境・福祉平和」の4つのテーマのもと、組合員が自発的に活動しています。テーマ別組合員活動「環境」では、石けんの利用普及に向けた活動や次世代を担う子どもたちに対して環境体験型企画の開催、水環境保全企画などに取り組み、多くの組合員が参加しました。

石けん

レッツ・トライ「石けん」ライフ

2022年度より論議してきた『レッツ・トライ「石けん」ライフ』の改訂版が完成。改訂版に基づく学習会用シナリオも作成しました。石けんをうまく使えず挫折してしまった方、ナチュラル洗剤をこれから使ってみようと思っている方、ひとりでも多くの方に石けんの良さが伝わることを願っています。

★小冊子「レッツ・トライ『石けん』ライフ(改訂版)」はこちらでご覧いただけます



2023年12月18日
**ナチュラル洗剤で
お掃除しよう**
(15名参加)
栃木センター

講師はテーマ別環境のメンバーが担当し、自然の水環境に与える影響やせっけんの仲間 6つの「ナチュラル洗剤」について説明したのちに、換気扇、シンクや蛇口、レンジ台のお掃除方法など、実践を交えて伝えることでナチュラル洗剤への理解を深める機会になりました。参加者からも、「ナチュラル洗剤の使い方がよく分からなかったが、自宅で試してみたい。」との声があがっていました。

涸 沼



2023年7月29日
涸沼の生き物観察会
(17家族48名参加)

茨城県環境アドバイザーの川島先生や、ひぬま生態系再生プロジェクトの中村先生のお話を聞いた後、若宮川に移動し、若宮川に最適の網をお借りして、生き物採取を行いました。生き物観察会を通して、多様多様な生き物が育つ環境を身近に感じてもらい、維持する、守る、引き継ぐ行動につながるきっかけとなりました。



2024年2月3日
**涸沼
バードウォッチング**
(14家族30名参加)

茨城県環境アドバイザー石井先生と川崎先生に協力いただき、涸沼湖畔を歩きながら観察。参加者の感想として、「初めての参加だったので、今回観察できた鳥の種類が多いのかわかりませんでしたが、少し判別、区別ができるようになりました。涸沼は身近な存在ながら、自然に直接触れられる貴重な場で、今後も環境保全、維持をしていきたいです。」と改めて理解を深める機会となりました。

環境報告書 2023

発行日：2024年5月(対象期間2023年4月1日～2024年3月31日)

発 行：生活協同組合 パルシステム茨城 栃木

連絡先：〒310-0022 茨城県水戸市梅香二丁目1番39号

TEL.029-227-2225 FAX.029-227-2235

<https://www.palsystem-ibaraki.coop/>

